様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月19日

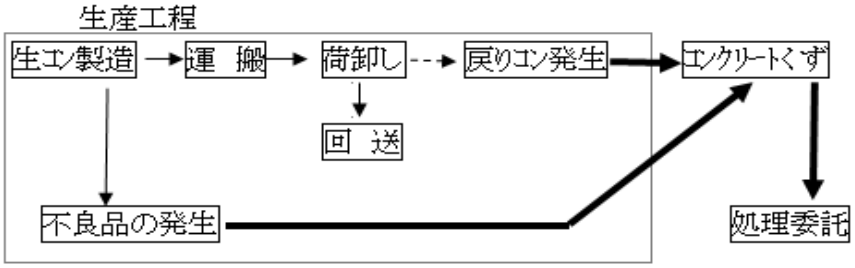
群馬県知事　殿

提出者　〒　375-0021
住　所　群馬県藤岡市小林532-1
氏　名　株式会社　ティケイエイチ
代表取締役　野村智生
電話番号　0274-50-9215

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　ティケイエイチ
事業場の所在地	群馬県藤岡市小林532-1
計画期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

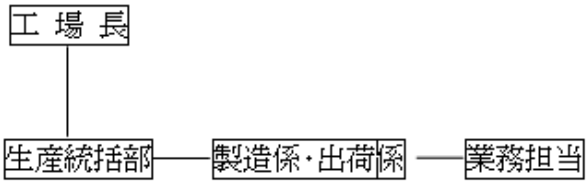
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E21　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	令和7年度実績　生産量（生コンクリート）　10,000㎥ 売上金額　2.0億円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
排　出　量	1,161　t	t

（これまでに実施した取組）
顧客に対して、生コンの発注数量の再確認を要求。
戻りコンを利用したコンクリートブロックの作製。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	
排　出　量	1,000　t	t

（今後実施する予定の取組）顧客又は販売先に対して、生コンクリートの発注数量の確認の徹底。戻りコンを利用したコンクリートブロックの作製。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
無し

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
無し

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和6年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1,161 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,161 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
顧客に対して、生コンの発注数量の再確認を要求。</td></tr>
</table>

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1,000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>（今後実施する予定の取組）顧客又は販売先に対して、生コンクリートの発注数量確認の徹底。戻りコンを利用したコンクリートブロックの作製。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建
工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末
模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生
の一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃
間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産
処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の
を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理
令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再
施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第
る処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の
への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入す

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないと
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付する
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入
「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

:作成すること。

以下に従って記入すること。

:設業の場合における元請完成
時点）等の業種に応じ事業規

主から最終処分が終了するまで
含む。）を記入すること。
:棄物の種類ごとに、自ら中
産業廃棄物の量と、自ら中間
び取組を記入すること。
の種類ごとに、全処理委託量
及び清掃に関する法律施行
再生利用委託量、認定熱回収
1項の認定を受けた者）であ
）熱回収を行っている処理業者
すること。
:きは、当該欄に「別紙のと
こと。また、産業廃棄物の
と記入し、当該欄に記入
入すべき事項がないときは、